

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	08_茨城県
市区町村名	08309大洗町
自治体区分	

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）	目標等の公表先
08309大洗町	③学校と家庭の課題	01 家庭等における学習習慣の定着	自主的・自立的に学ぶとする意識を高め、学力向上を図ることが課題となっている。また、休日や長期休業中に、学校以外の場所に落ち着いて学べる環境を整えることが学校・家庭の共通課題となっている。	令和5年度より町中央公民館を会場として土曜日及び長期休業期間中に「中学生大洗塾」を実施した。 (R7実績) ・実施回数20回 ・参加登録者数44人(町立中学校全生徒数の約38%)	・中学校3年生を対象に、主に受験対策のための学習機会として実施した。 ・年間20日間実施する。学習サポーター(地域の社会人や大学生等)を4名配置して、学習方法のアドバイス等を行い、生徒が安心して学べるようサポートした。	学校以外で、自主的に学習する習慣を身に付けた生徒が増加する。	休日に2時間以上、自主的に学習する生徒(中学3年生)の割合(大洗塾への参加率)	46	%	60	38	02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる ・大洗塾に参加した生徒に、学習方法等のアドバイスをを行うことで、各生徒が自分自身の学習方法を身に付け、自主的に学習しようとする意識も高揚した。 ・会場を学校から離れた公民館に移し、受験対策の学習をする場所として、町内全中学3年生の38%が参加した。参加率は目標値を達成していないが、休日の学習に対する生徒の意識が変化してきた。 ・次年度は、家庭への周知の徹底と学習サポーターの配置方法の見直し等を行い、生徒の意識や事業への満足度がより高まることを目指す。	町ホームページで公表予定 (新規URLは、公開時に決定される仕組みです)
08309大洗町	②学校と地域の課題	03 学校支援ボランティアの確保・育成	現在、大洗うみ・まちコミュニティースクールの活動を推進し、地域との連携・協働による学校運営に取り組んでいる。4年目となる令和7年度では、地域との連携をさらに推し進める。 原子力関連施設、大洗わくわく科学館など、近隣に多くの科学施設を有する町の特性を生かし、地域で活躍されている多くの科学者・研究者の方々とともに放課後の科学実験教室を実施することで、地域との連携による「科学の学びの場」を作り出す。	参加者の定員を、小学生版40名、中学生版20名とし、年間計28回の科学実験教室を計画する。また、安心安全な実験環境を実現するため、指導方法の確認・共有を目的とした実験リハーサルを計20回行う予定である。 地域の科学者・研究者による実験指導者(協働活動支援員を除く)を教室ごとに2名づつの確保することを目標とし、年間延べ56名の参加人数を目標値とする。 《実験指導(地域の科学者・研究者)2名×科学実験教室28回＝年間延べ人数56名》	(R6実績) 《中学生版》 参加生徒数:11名 実施回数:4回 《小学生版》 参加児童数:24名 実施回数:16回 《全体》 ・児童生徒参加延べ数:計237名 ・地域の方(科学者・研究者)の参加延べ数:66名 ・協力事業所数:6事業所 ・協力施設:大洗わくわく科学館 ・協賛企業数:1事業所	地域連携・協働による「科学の学びの場」の創出による【大洗うみ・まちコミュニティースクール】の推進	実験指導者としての地域の科学者・研究者の年間延べ参加人数(協働活動支援員を除く)	66(R6実績延べ数)	人	56	56	03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた 本年度は、次の①②③のコースを実施した。 ①《中学生版》【わくわくチャレンジドクター(博士)コース】(7回) ②《小学生版※対象:5年生6年生》【どきどきエンジョイマスター(修士)コース】(8回) ③《小学生版※対象:4年生》【レッツサイエンス!パチャラー(学士)コース】(2回) 【事業成果の概要は次のとおり】 ・児童生徒参加延べ数:計204名 ・教室実施回数:17回 ・地域の方(科学者・研究者)の参加延べ数:56名 ・協力事業所数:6事業所 ・協力施設:大洗わくわく科学館 ・協賛企業数:1事業所 本年度の目標として、地域住民の方の年間指導延べ人数を56名以上の確保としたが、実績数は56名(教室1回につき3.3名×17回)であった。 実験教室ごとに2名ずつの指導者の確保について、3.3名(実績)と達成できた。	町ホームページで公表予定 (新規URLは、公開時に決定される仕組みです)